

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 29日

相模原市長 殿

提出者

住 所 横浜市中区太田町4丁目51番地

氏 名 鹿島建設株式会社 横浜支店  
副社長執行役員支店長 野村 高男  
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 045-641-8133

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	鹿島建設株式会社 横浜支店			自主管理番号
				( 2243 )
事業場の所在地	横浜市中区太田町4丁目51番地		TEL(連絡先):	045-641-8133
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年間)			
当該事業場に関する事項				
① 事業の種類	Dー建設業		(具体的には)	総合工事業
② 事業の規模  ※ 前年度実績を記入、医療機関は前年度末時点の病床数を記入。	製造業	製造品出荷額		百万円
	建設業	エリア内元請完成工事高	148,524	百万円
	医療機関	病床数		床
	その他の業種	売上高		百万円
	(上記項目に該当しない場合にはこちらに記載をしてください。)			
③ 従業員数	735			
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程  ※ 産業廃棄物の種類ごとに記入	1. 排出事業者としての処理工程 発生(現場)⇒保管(現場)⇒収集・運搬(積替・保管含む)⇒中間処理(再生含む)⇒最終処分(埋立等) 2. 建設副産物管理フロー 計画の策定「分別解体等の計画等」・「届出書」(発生予測⇒発生抑制の検討・再使用の検討・リサイクル方法の検討) ⇒ 運用管理(委託契約書締結等⇒環境情報システム(施行プロセス)運用⇒事前協議届(特管管理責任者の設置等)⇒作業員教育⇒搬出管理) ⇒ 実績集計・報告(月次集計・入力⇒「再資源化等報告書」等作成・提出⇒記録の保管) ※品目毎の処理の工程は別紙のとおり。			

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

1. 当社の環境管理推進体制・・・全社環境委員会委員長⇒委員長代理⇒支店長⇒支店事務局⇒部門支店環境管理責任(土木部・建築部)⇒工事事務所
2. 担当者の役割・・・支店(総括環境管理者任命)、工事事務所(環境統括管理者・環境管理者任命)による関係者の責務と役割を明確にした社内管理体制
3. 現場の組織体制・・・環境統括管理者(所長)→環境管理者(副所長・工事課長他)→現場推進者(担当者)また、協力会社組織としての職長会活動として、環境活動に取り組む

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度(令和4年度)実績】		
	産業廃棄物の種類数	7	種類
	① 排出量	1,421.5	t
② 計画	【(令和5年度)目標】		
	産業廃棄物の種類数	8	種類
	① 排出量	1,132.0	t

\* 種類ごとの前年度排出量は、別紙のとおり。

(これまでに実施した取組)

令和4年度の取組としては:

- ・土木工事:最終処分率3%未満、混合廃棄物の分別強化、廃棄物データの定期的確認
- ・建築工事:廃棄物の低減・発生抑制、廃棄物総量原単位70kg/m<sup>3</sup>以上の大量排出工事ゼロ(法廷延床面積5000m<sup>2</sup>以上の新增築において)
- ・その他取り組み:3R推進活動を展開し、抑制・分別・代替品使用の指導と支援、廃プラスチックの分別の徹底による再資源化の促進

(今後実施する予定の取組)

令和5年度の目標としては:

- ・土木工事:最終処分率3%未満、混合廃棄物の分別強化、廃棄物データの定期的確認
- ・建築工事:最終処分率3%未満、社内システムを活用し現場毎の廃棄物削減計画の実行・監視・結果評価の流れを整備する。施工計画における手戻り、やり直し作業や意図しない突貫工事化を防止することにより、廃棄物の削減と大量排出工事のゼロを目指す。
- ・その他取り組み:3R推進活動を展開し、抑制・分別・代替品使用の指導と支援、リサイクル率の高い処理業者を起用する。リサイクル可能な廃プラスチックの更なる分別を徹底し、再資源化を図る。

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準分別ルールによる:</li> <li>・土木工事・・・コンガラ、アスファルトガラ、廃プラ、硬質塩ビ管、金属くず、木くず、段ボール、紙くず、混合廃棄(9品目)、</li> <li>・建築工事・・・現場規模別(5000m<sup>2</sup>まで・50000m<sup>2</sup>まで・50000m<sup>2</sup>以上)・工程別(基礎工事、躯体工事、仕上げ工事)で品目を設定(4品目～19品目)</li> </ul>	
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準分別ルールによる:</li> <li>・土木工事・・・コンガラ、アスファルトガラ、廃プラ、硬質塩ビ管、金属くず、木くず、段ボール、紙くず、混合廃棄(9品目)、</li> <li>・建築工事・・・現場規模別(5000m<sup>2</sup>まで・50000m<sup>2</sup>まで・50000m<sup>2</sup>以上)・工程別(基礎工事、躯体工事、仕上げ工事)で品目を設定(4品目～19品目)、メーカーリサイクルの積極的採用</li> </ul>	

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度(令和 4 年度)実績】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和 5 年度)目標】		
	②+⑧ 自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	* 種類ごとの本年度自ら再生利用量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度(令和 4 年度)実績】		
	⑤ 自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら熱回収を行った量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	* 種類ごとの前年度自ら中間処理により減量した量は、別紙のとおり。
② 計画	【(令和 5 年度)目標】		
	⑤ 自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	* 種類ごとの本年度自ら熱回収を行う量は、別紙のとおり。
	⑦ 自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	* 種類ごとの本年度自ら中間処理により減量する量は、別紙のとおり。
② 計画	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度(令和 4 年度)実績】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t * 種類ごとの前年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量は、別紙のとおり。
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【(令和 5 年度)目標】		
	③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0	t * 種類ごとの本年度自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う量は、別紙のとおり。
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度(令和 4 年度)実績】			
	⑩ 全処理委託量	1,421.5	t	* 種類ごとの前年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,197.2	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,421.5	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0	t	
	(これまでに実施した取組)			
処理委託業者選定の際は、適正業者の起用を徹底することで不法投棄防止に努めている。また、処理施設については、定期的に視察し、視察結果をイントラに掲載して、社内での情報共有を図り、環境リスクを回避している。				

② 計画	【(令和 5 年度)目標】			
	⑩ 全処理委託量	1,132.0	t	* 種類ごとの本年度処理委託量は、別紙のとおり。
	⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	182.0	t	
	⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,132.0	t	
	⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	
	⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	
	(今後実施する予定の取組)			
処理委託業者選定については、従来の取組を継続し、特に混合廃棄物取扱業者の精査を継続する。現場で取り組むゼロエミッション活動の観点から工事現場における分別努力が正しく反映されるようリサイクル率の高い業者選定や、廃棄物処理法改正に伴う、優良産廃処理業者認定制度において認定された業者等への委託へと絞り込みを行う。3R推進活動のモデル現場選定によるゼロエミッションの活性化を図る。リサイクル可能な廃プラスチックの更なる分別を徹底し、再資源化を図る。				
※ 事務処理欄				

備考

- 1 この様式は、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成し、提出してください。  
  
また、前年度(令和4年度)の産業廃棄物の発生量が1,000トン未満の事業場にあつては、神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市が推進する廃棄物自主管理事業へ参加するにあたり、事業場ごとに1枚作成し、提出してください。
- 2 当該年度(令和5年度)の6月30日までに提出してください。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入してください。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類(中分類)の区分を記入してください。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入してください。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入してください。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入してください。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入してください。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入してください。
- 7 第5面の※欄には、何も記入しないでください。

別紙処理フロー

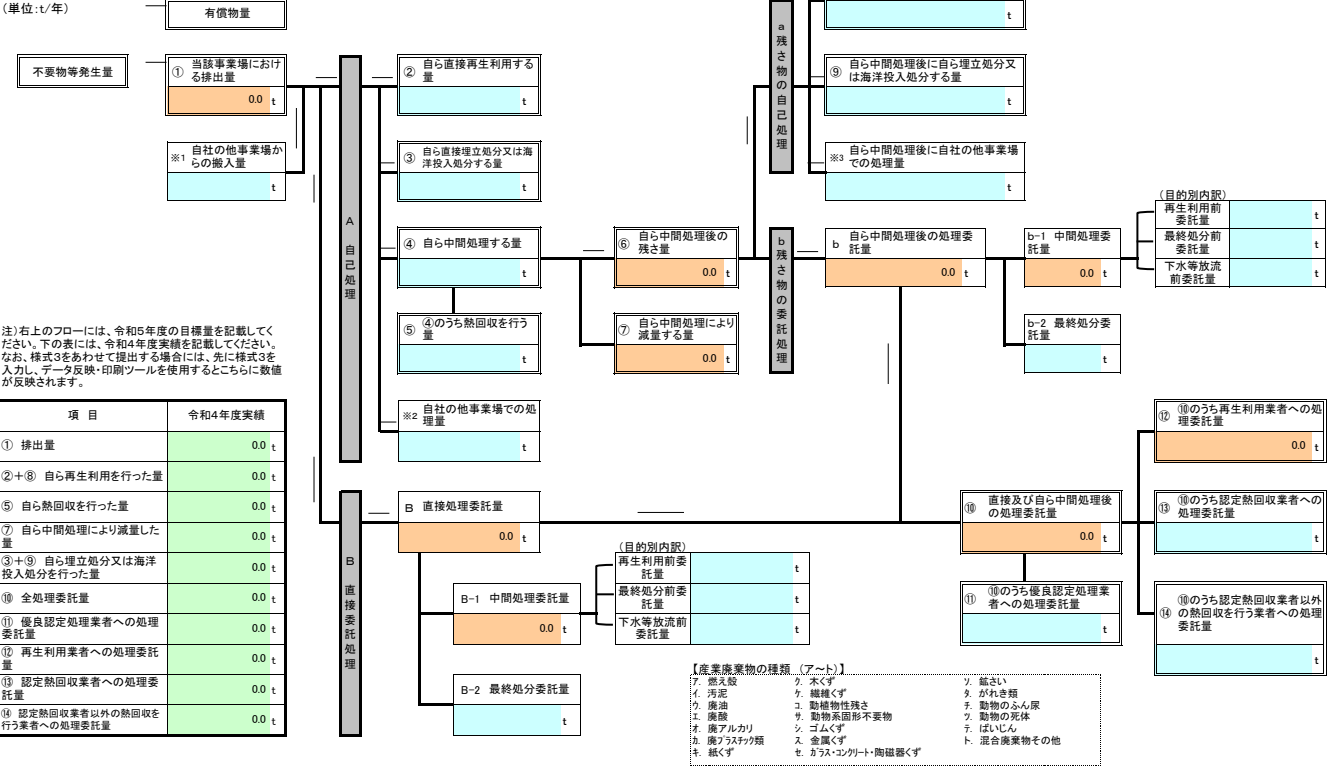
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類	ア. 燃え殻
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

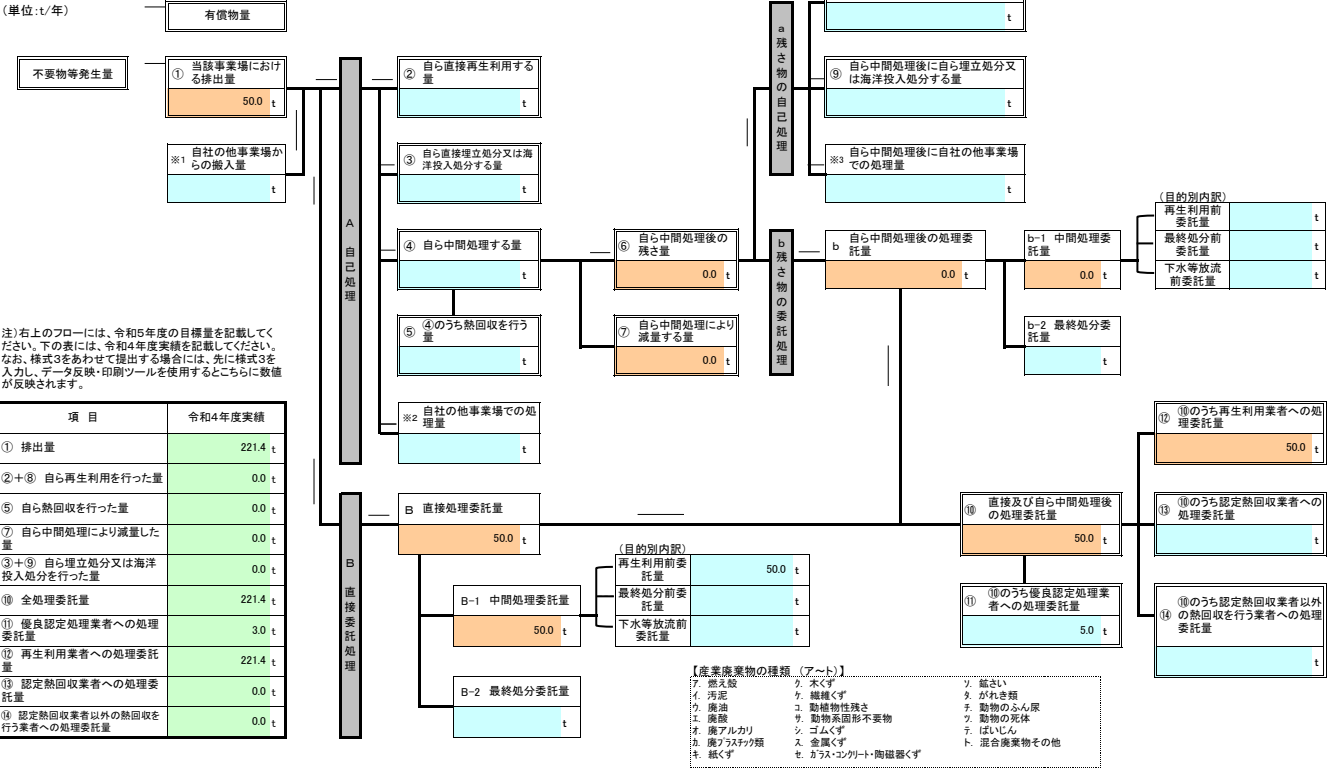
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

フローに記載した産業廃棄物の種類	イ. 汚泥
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	221.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	221.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	3.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	221.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



別紙処理フロー

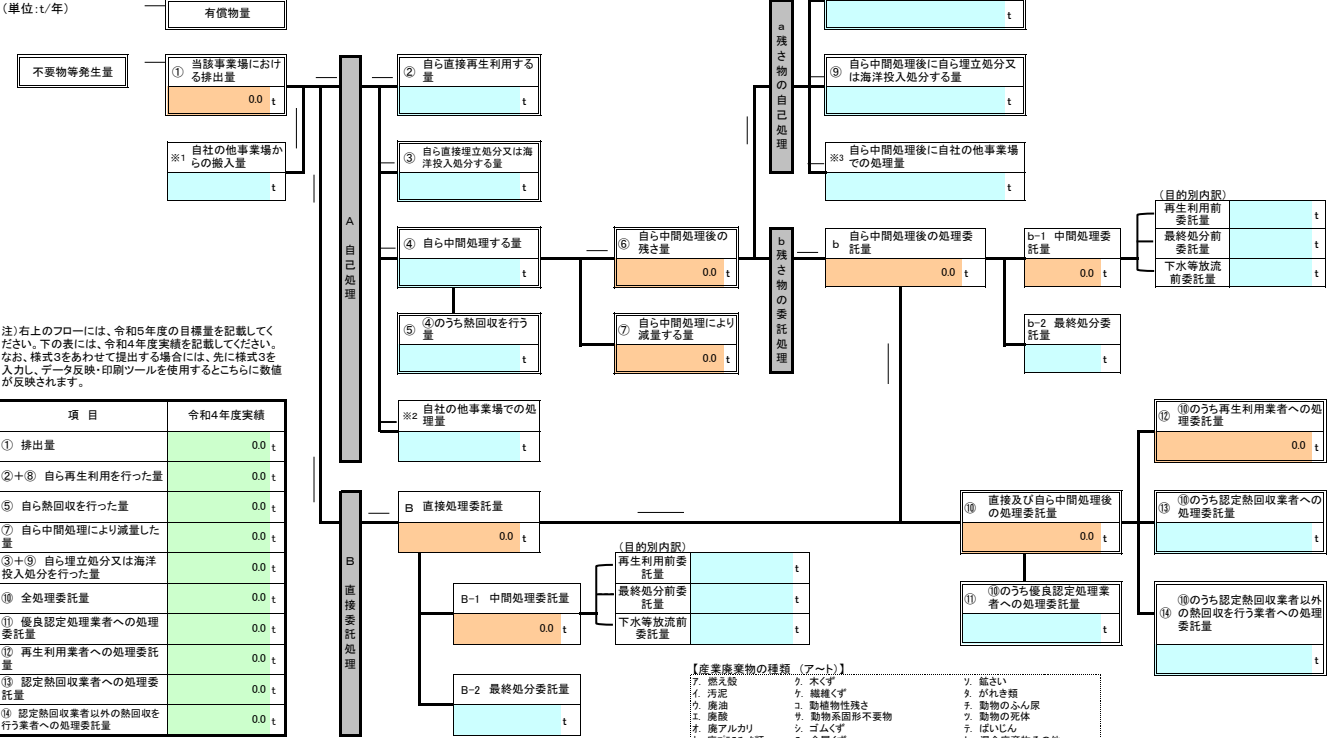
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類	ウ、廃油
------------------	------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

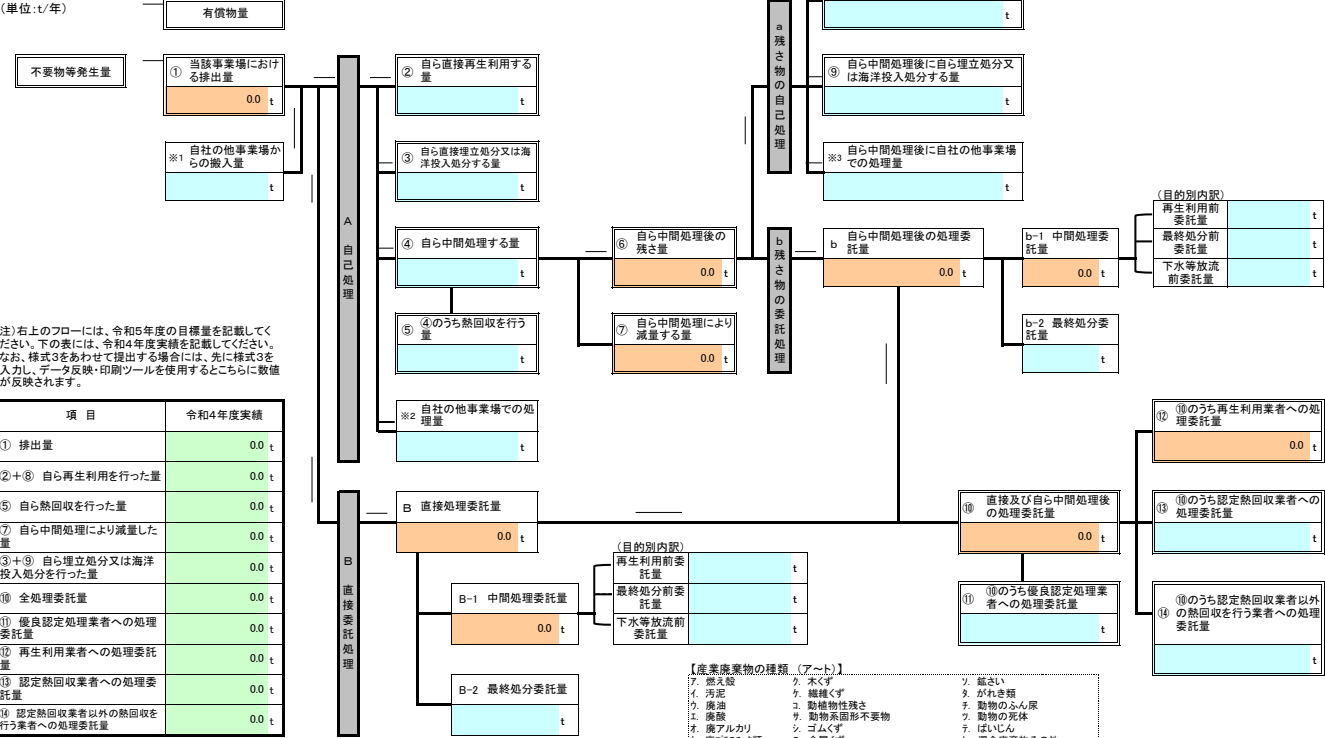
別紙処理フロー  
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類	工 廃酸
------------------	------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

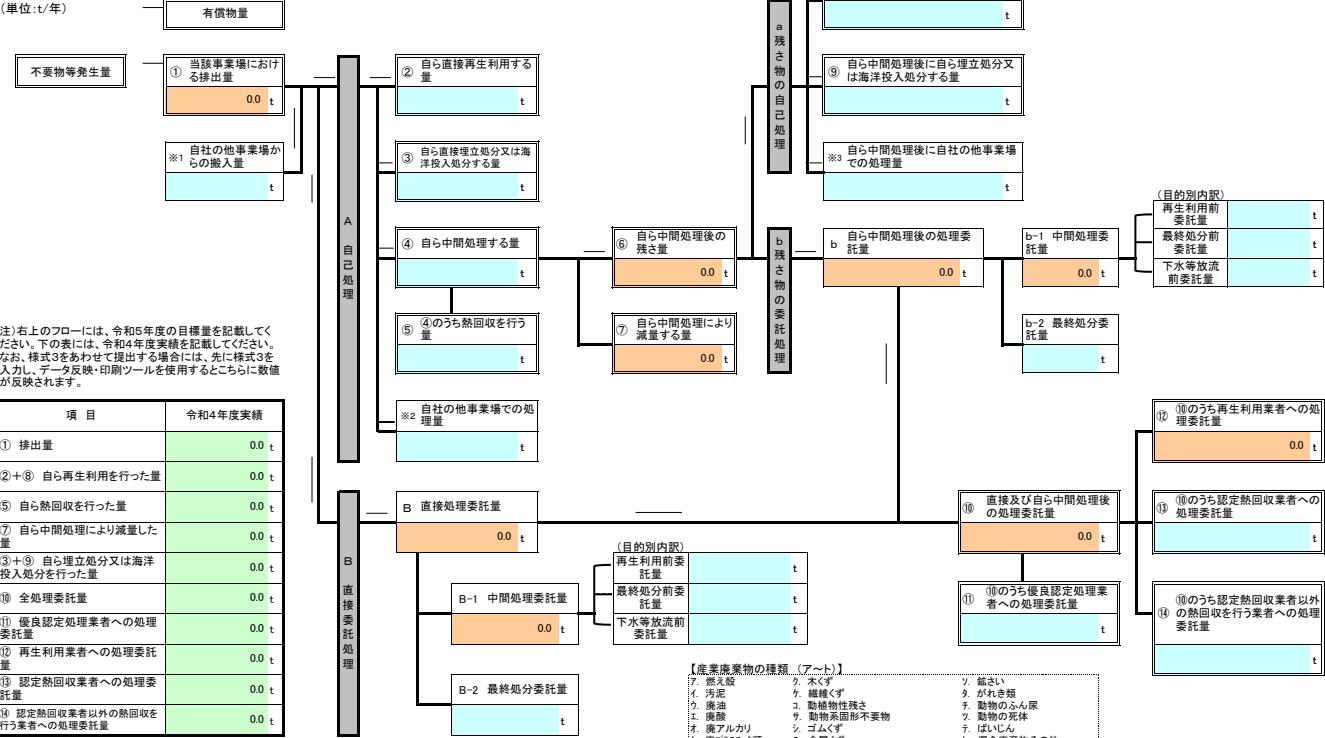
別紙処理フロー  
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類 オ： 廃アルカリ

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位：t/年)



注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

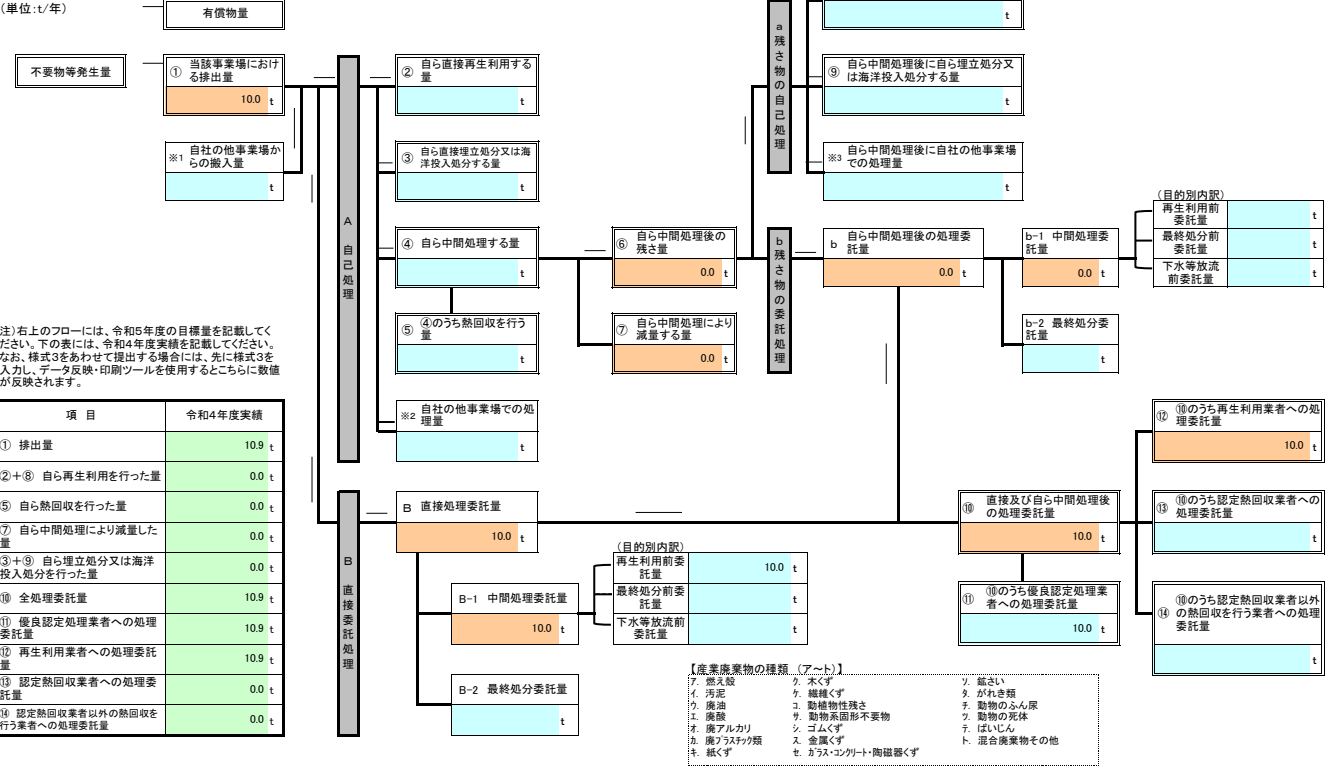
別紙処理フロー  
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類  
カ. 廃プラスチック類

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	10.9 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	10.9 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	10.9 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	10.9 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類

キ、紙くず

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位：t/年)

「紙くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告が除外です。  
【該当業種】パルプ、紙又は紙加工品の製造業、新聞業（新聞巻取紙を使用して印刷発行を行うもの）、出版業（印刷出版を行うもの）、製本業、印刷物加工業、建設業（工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの）

不変物等発生量

有償物量

① 当該事業場における排出量  
2.0 t

※1 自社の他事業場からの搬入量  
t

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	2.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	2.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	2.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	2.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

② 自ら直接再生利用する量  
t

③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量  
t

④ 自ら中間処理する量  
t

⑤ ④のうち熱回収を行う量  
t

※2 自社の他事業場での処理量  
t

B 直接処理委託量  
2.0 t

B-1 中間処理委託量  
2.0 t

B-2 最終処分委託量  
t

⑥ 自ら中間処理後の残存量  
0.0 t

⑦ 自ら中間処理により減量する量  
0.0 t

(目的別内訳)  
再生利用前委託量 2.0 t  
最終処分前委託量 t  
下水等放流前委託量 t

a 残さ物の自己処理

⑧ 自ら中間処理後に再生利用する量  
t

⑨ 自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量  
t

※3 自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量  
t

b 自ら中間処理後の処理委託量  
0.0 t

b-1 中間処理委託量  
0.0 t

b-2 最終処分委託量  
t

(目的別内訳)  
再生利用前委託量 t  
最終処分前委託量 t  
下水等放流前委託量 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量  
2.0 t

⑩のうち認定熱回収業者への処理委託量  
t

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量  
2.0 t

⑩のうち認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量  
t

【産業廃棄物の種類 (ア～ト)】

- ア 燃え殻  
イ 汚泥  
ウ 炭油  
エ 炭酸  
オ 炭アルカリ  
カ 炭プラスチック類  
キ 紙くず  
ク 木くず  
ケ 繊維くず  
コ 動植物性残さ  
サ 動物系固形不変物  
シ ゴムくず  
ス 金属くず  
セ ガラス・コンクリート・陶磁器くず  
ソ 鉱さい  
タ がれき類  
チ 動物のふん尿  
ツ 動物の死体  
テ ばいじん  
ト 混合廃棄物その他

事業場名称 : 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃	タ 本くず
-------------	-------

「木くず」には業種指定等があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
 【該当業種】木材又は木製品の製造業(家具製造業を含む)、パルプ製造業、輸入木材の卸売業及び物品買入業に係るもの、建設業(工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの)。  
 【全業種対象】貨物の流通のために使用したパレット(パレットへの貨物の積付けのために使用したこん包用の木材を含む)。

有償物量
------

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

※1	自社の他事業場からの搬入量	t
----	---------------	---

②	自ら直接再生利用する 量	t
---	-----------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	t
---	---------------------	---

自己処理	④ 自ら中間処理する量	t

⑤	④のうち熱回収を行う量	t
---	-------------	---

※2	自社の他事業場での処理量	t
----	--------------	---

B 直接处理委託量	10.0 t
-----------	--------

直接委		B-1 中間處理

B-2 最終処分

⑨	自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	t

理	※3	自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量	t

b 残さ物	—	b 自ら中間処理後の処理委託量	
			0.0 t

委託處理

	Yes	No
1. The company has a policy on sexual harassment.		
2. The company provides training on sexual harassment.		
3. The company has a procedure for reporting sexual harassment.		
4. The company takes prompt action against sexual harassment.		
5. The company maintains a safe work environment.		
6. The company promotes diversity and inclusion.		
7. The company respects employee privacy.		
8. The company complies with all applicable laws and regulations.		
9. The company fosters a culture of respect and dignity.		
10. The company encourages open communication.		
11. The company provides support for employees facing harassment.		
12. The company regularly reviews its policies and procedures.		
13. The company ensures fair treatment for all employees.		
14. The company prioritizes employee well-being.		
15. The company holds management accountable for creating a positive workplace.		

10 直接及  
の処理

10.0 t	
t	⑪ ⑩のう 者への

の種類 (アート)】

ク. 木くず	シ. 鋸さい
ケ. 繊維くず	タ. がれき類
コ. 動植物性残さ	チ. 動物のふ

注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するとこちらに数値が反映されます。

項 目	令和4年度実績
① 排出量	13.6 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑨ 全処理委託量	13.6 t
⑩ 優良認定処理業者への処理委託量	13.6 t
⑪ 再生利用者への処理委託量	13.6 t
⑫ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

(目的別内訳)	
再生利用前委託量	10.0 t
最終処分前委託量	t
下水等放流前委託量	t

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

7. 燃え殻	7. 木くず
1. 汚泥	7. 繊維くず
2. 廃油	7. 動植物性残さ
3. 廃酸	7. 動物系固形不要物
4. 廃アルカリ	7. ゴムくず
5. 廃プラスチック類	7. 金属くず
6. 紙くず	7. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

## 事業場名称 : 鹿島建設株式会社 横浜支店

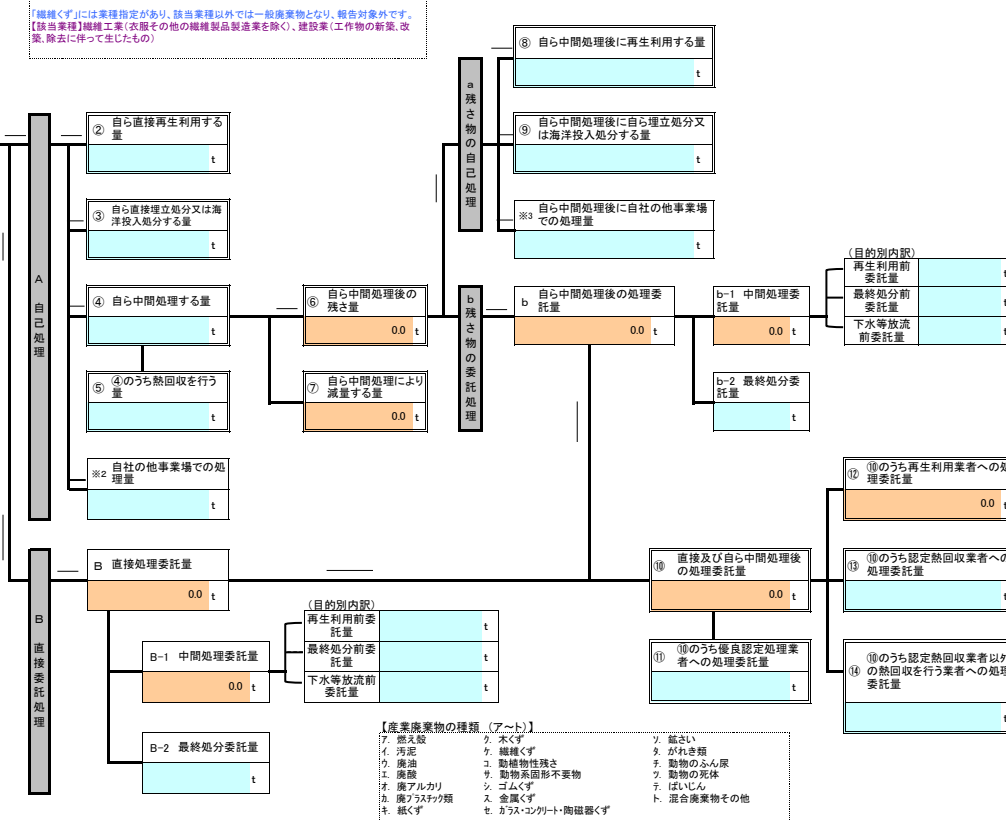
フローに記載した産業廃棄物の種類	ケ. 繊維くず*
------------------	----------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

有償物量
------

「繊維くず」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】繊維工業（衣服その他の繊維製品製造業を除く）、建設業（工作物の新築、改築、除去に伴って生じたもの）

項 目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t



事業場名称 : 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃	コ 動植物性廃棄
-------------	----------

【動植物性残さ】には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】食料品製造業、医薬品製造業、香料製造業において原料として使用した動物又は植物の固形状の不要物

有價物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

※1	自社の他事業場からの搬入量	t
----	---------------	---

②	自ら直接再生利用する 量	t
---	-----------------	---

③	自ら直接埋立処分又は海洋投入処分する量	t
---	---------------------	---

自己処	④ 自ら中間処理する量	t

⑤ ④のうち熱回収を行う量 t

※2	自社の他事業場での処理量	t
----	--------------	---

	B 直接处理委託量	0.0 t
--	-----------	-------

直接委		B-1 中間處理

B-2 最終処分

a 残さ物の自己処理

	t
--	---

⑨	自ら中間処理後に自ら埋立処分又は海洋投入処分する量	t
---	---------------------------	---

※3	自ら中間処理後に自社の他事業場での処理量	t
----	----------------------	---

b	自ら中間処理後の処理委託量	0.0 t
---	---------------	-------

15 JULY 2004

[illegible]

⑩ 直接  
の処

10の  
者へ

木くず                      ソ. 鋸さい  
繊維くず                  タ. がれき類  
動植物性残さ            チ. 動物の

金属くず  
ガラス・コンクリート・陶磁器くず

項 目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0

(目的別内訳)		
再生利用前委託量		t
最終処分前委託量		t
下水等放流前委託量		t

【産業廃棄物の種類（ア～ト）】

7. 燃え殻	ク. 木くず
イ. 汚泥	ケ. 繊維くず
ウ. 廃油	コ. 動植物性残さ
エ. 廃酸	サ. 動物系固形不要物
オ. 廃アルカリ	シ. ゴムくず
カ. 廃プラスチック類	ス. 金属くず
キ. 紙くず	セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず

- ソ. 鋸さい
- タ. がれき類
- チ. 動物のふん尿
- ツ. 動物の死体
- テ. ばいじん
- ト. 混合廃棄物その他

(目的別内訳)		
再生利用前委託量		t
最終処分前委託量		t
下水等放流前委託量		t

⑫	⑩のうち再生利用業者への処理委託量	0.0	t
---	-------------------	-----	---

⑬	⑩のうち認定熱回収業者への 処理委託量	
---	------------------------	--

⑩のうち認定熱回収業者以外の  
⑭の熱回収を行う業者への処理  
委託費

	t
--	---



別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類

サ. 動物系固形不要物

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)

有償物量

不要物等発生量

① 当該事業場における排出量

0.0 t

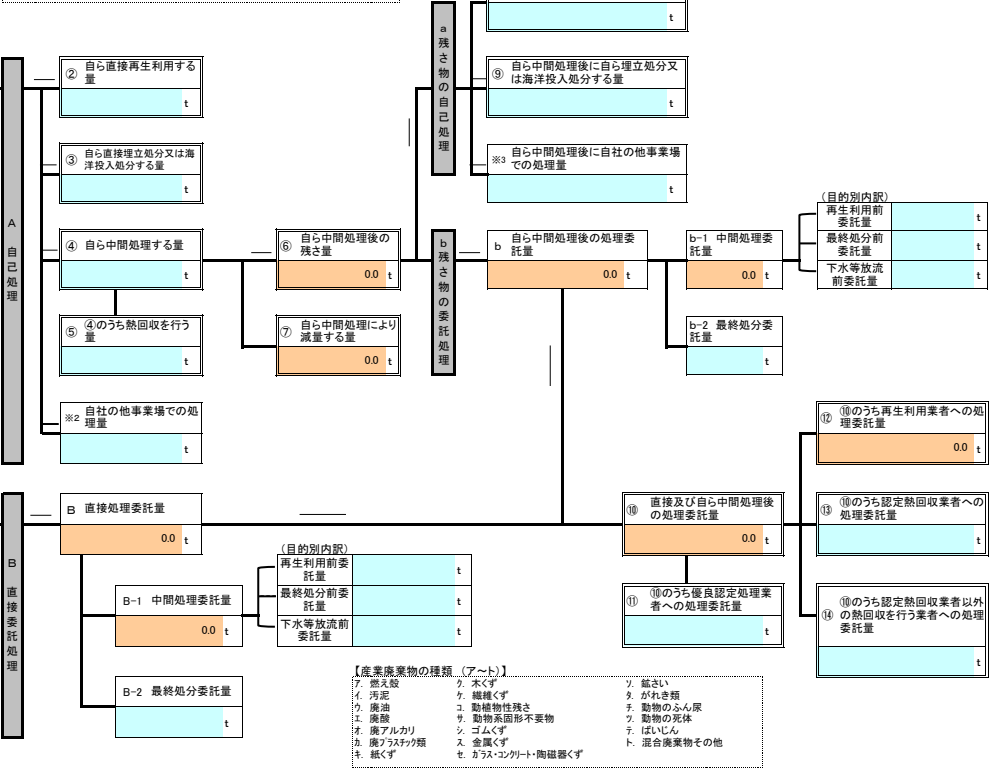
※1 自社の他事業場からの搬入量

t

注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

「動物系固形不要物」には業種指定があり、該当業種以外では一般廃棄物となり、報告対象外です。  
【該当業種】と畜場においてとつし、又は解体した獣畜及び食鳥処理場において食鳥処理をした食鳥に係る固形状の不要物



別紙処理フロー

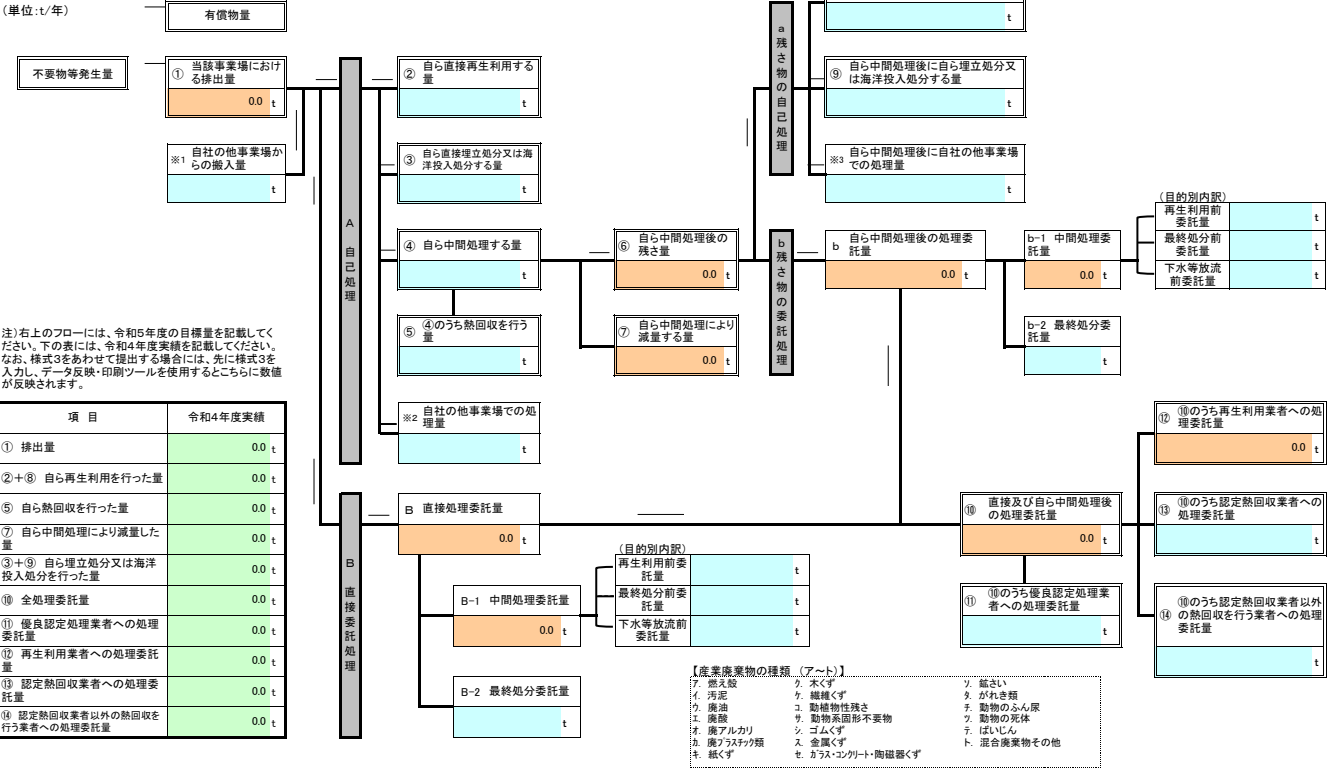
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類	シ. ゴムくず
------------------	---------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

別紙処理フロー

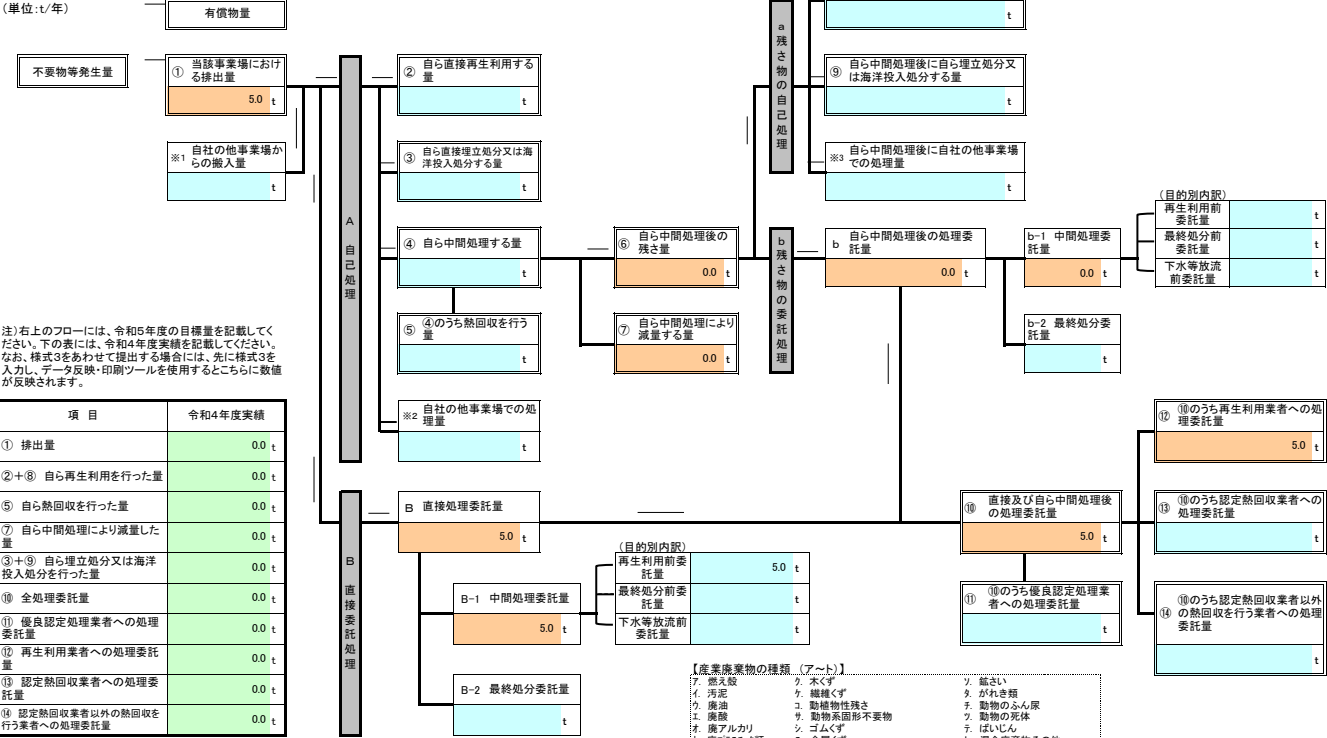
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類	ス 金属くず
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

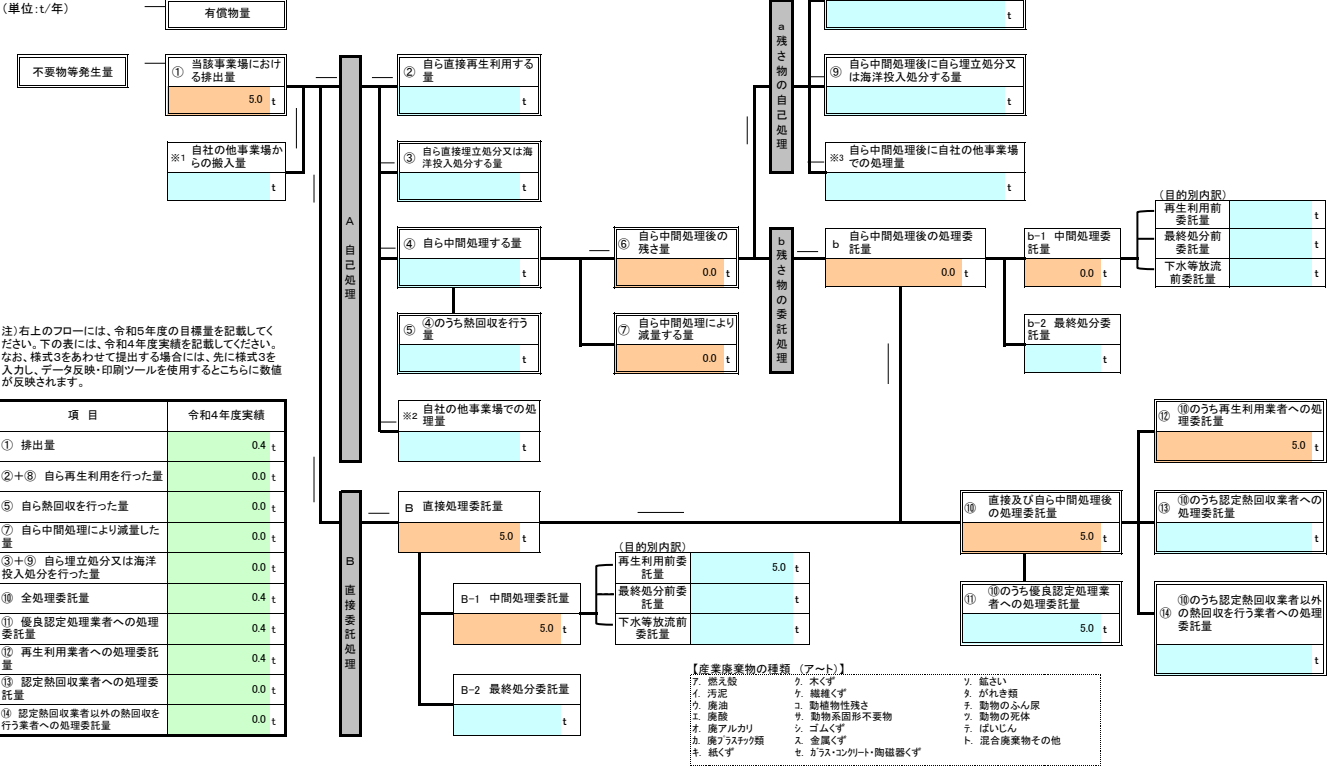
別紙処理フロー

令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類  
セ. ガラス・コンクリート・陶磁器くず  
※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.4 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.4 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.4 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.4 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

別紙処理フロー

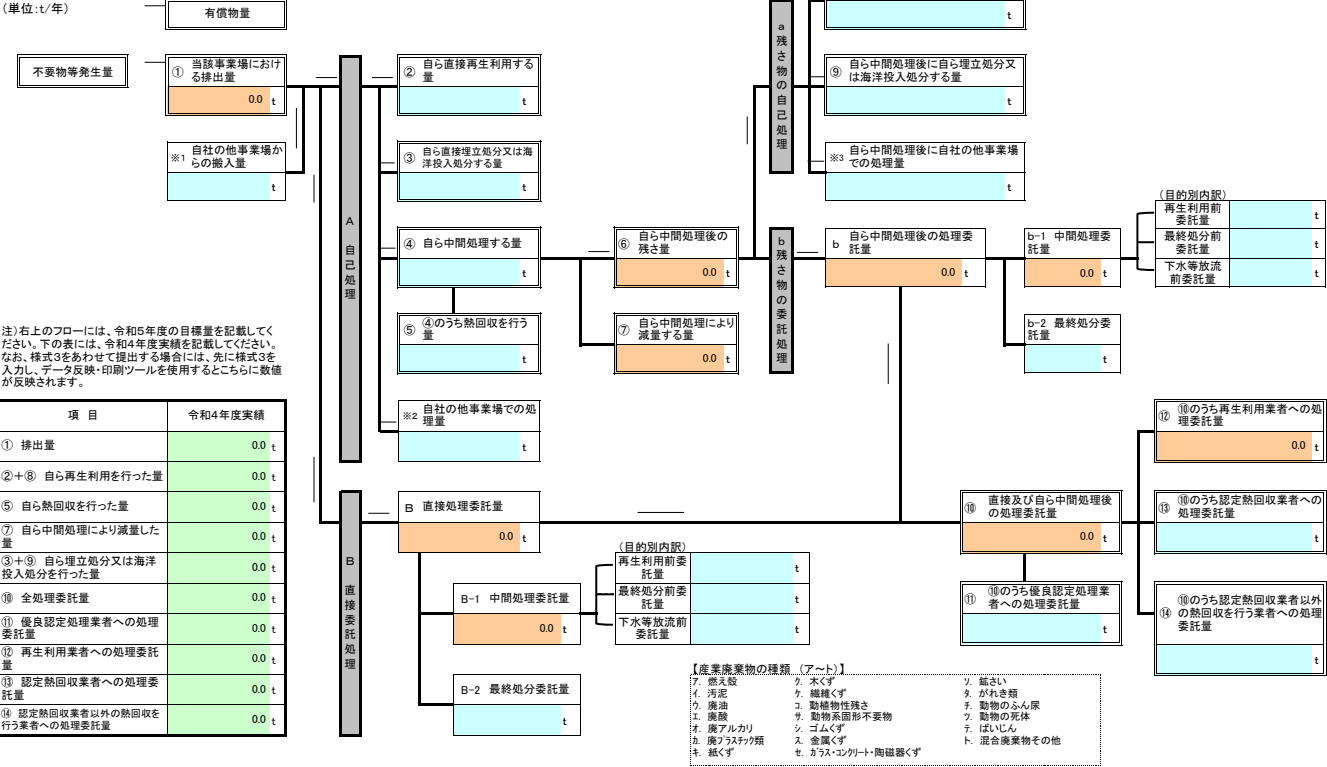
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類	ソ、鉱さい
------------------	-------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



別紙処理フロー

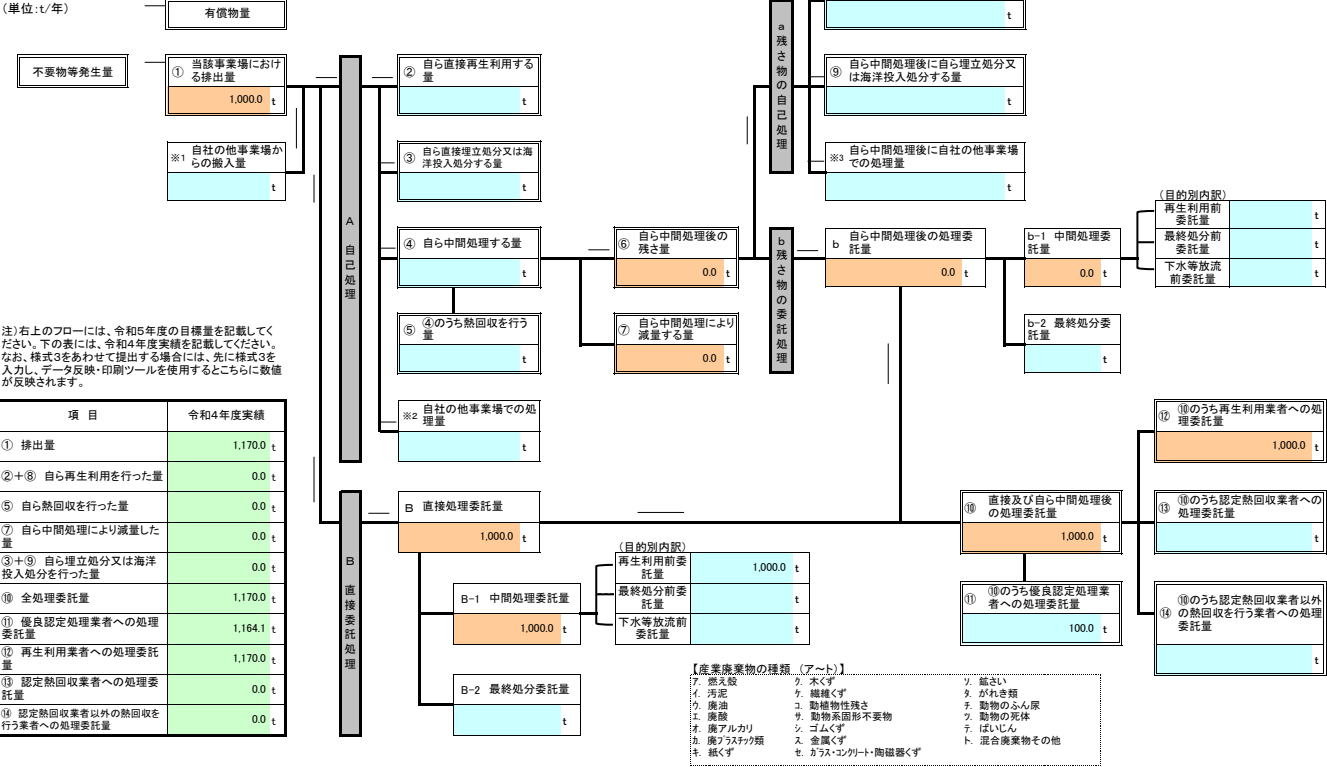
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類	タ、がれき類
------------------	--------

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位:t/年)



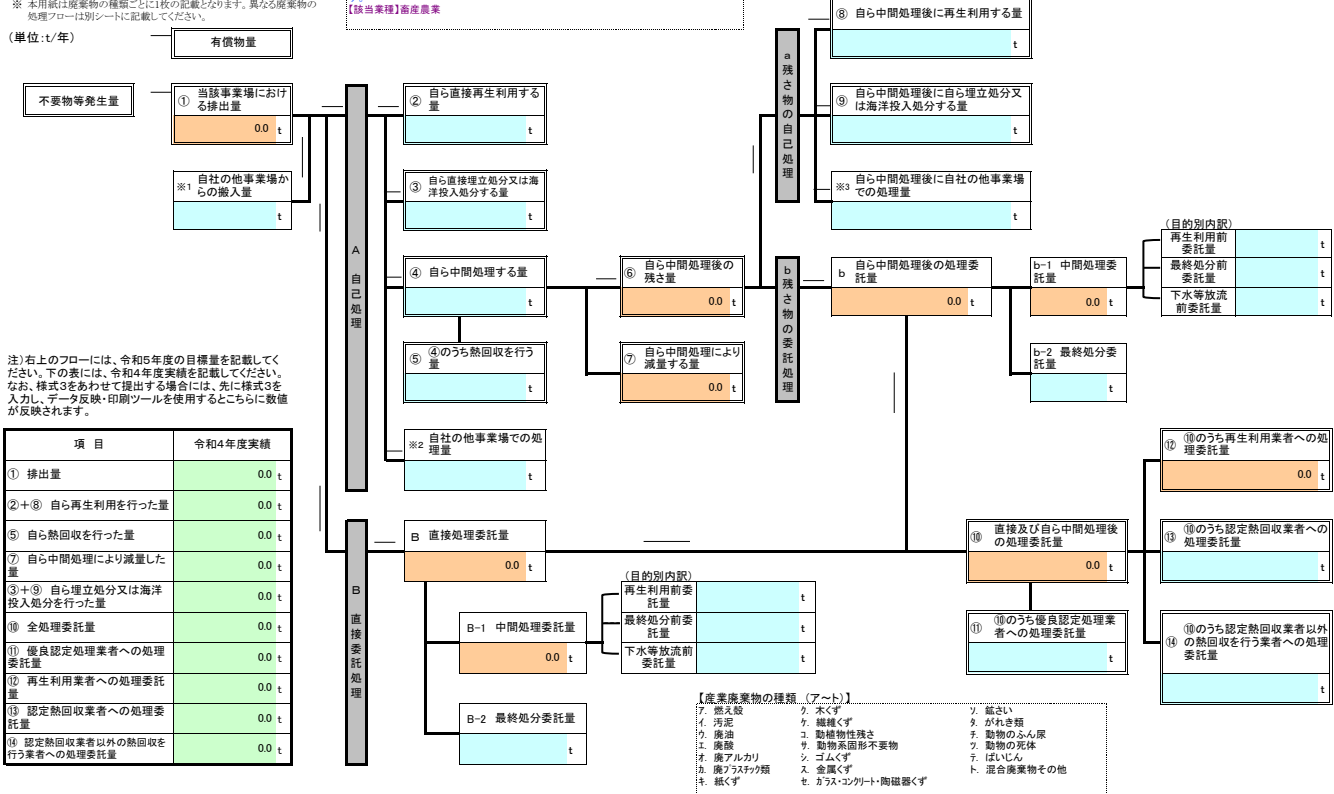
注)右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	1,170.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	1,170.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	1,164.1 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	1,170.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

事業場名称 : 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類	チ、動物のふん尿
------------------	----------

(单位:t/年)







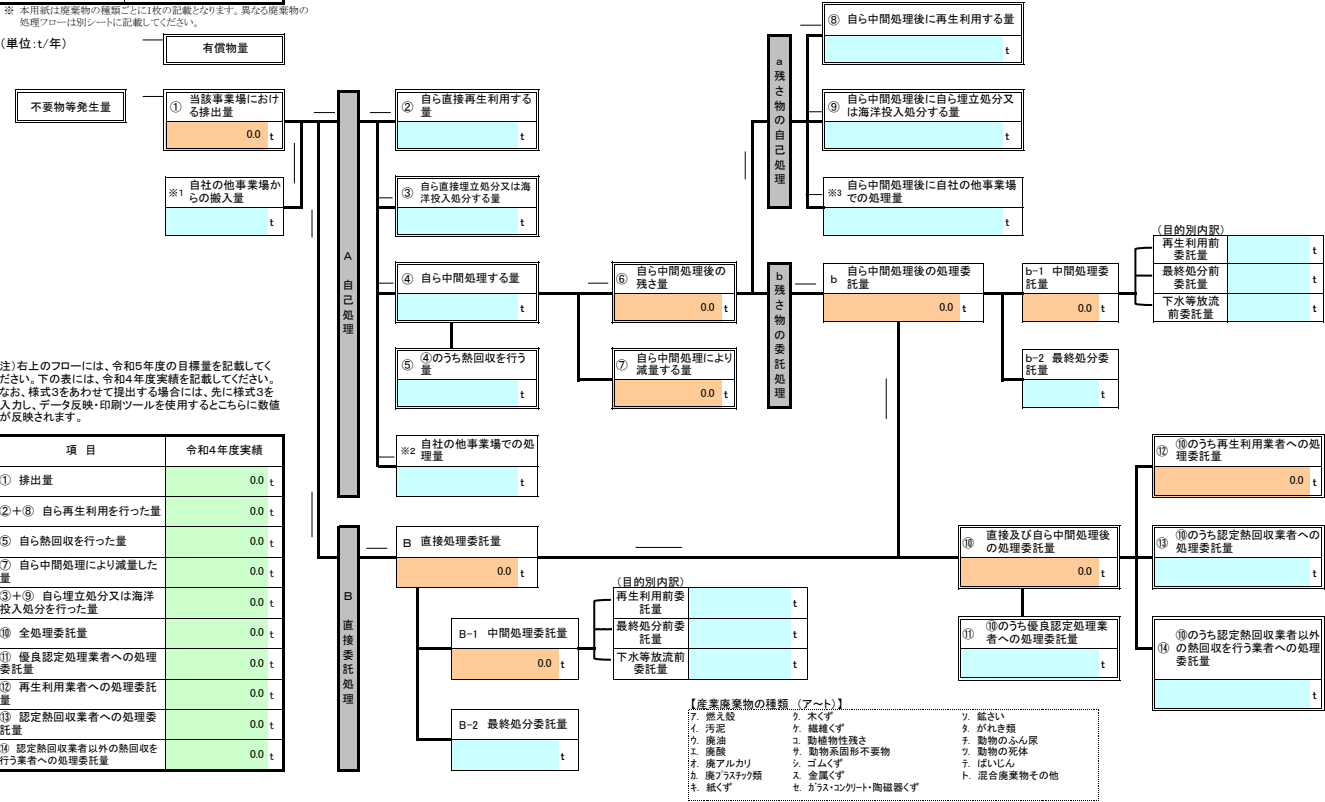
別紙処理フロー  
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類      テ. ばいじん

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	0.0 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	0.0 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	0.0 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	0.0 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

別紙処理フロー

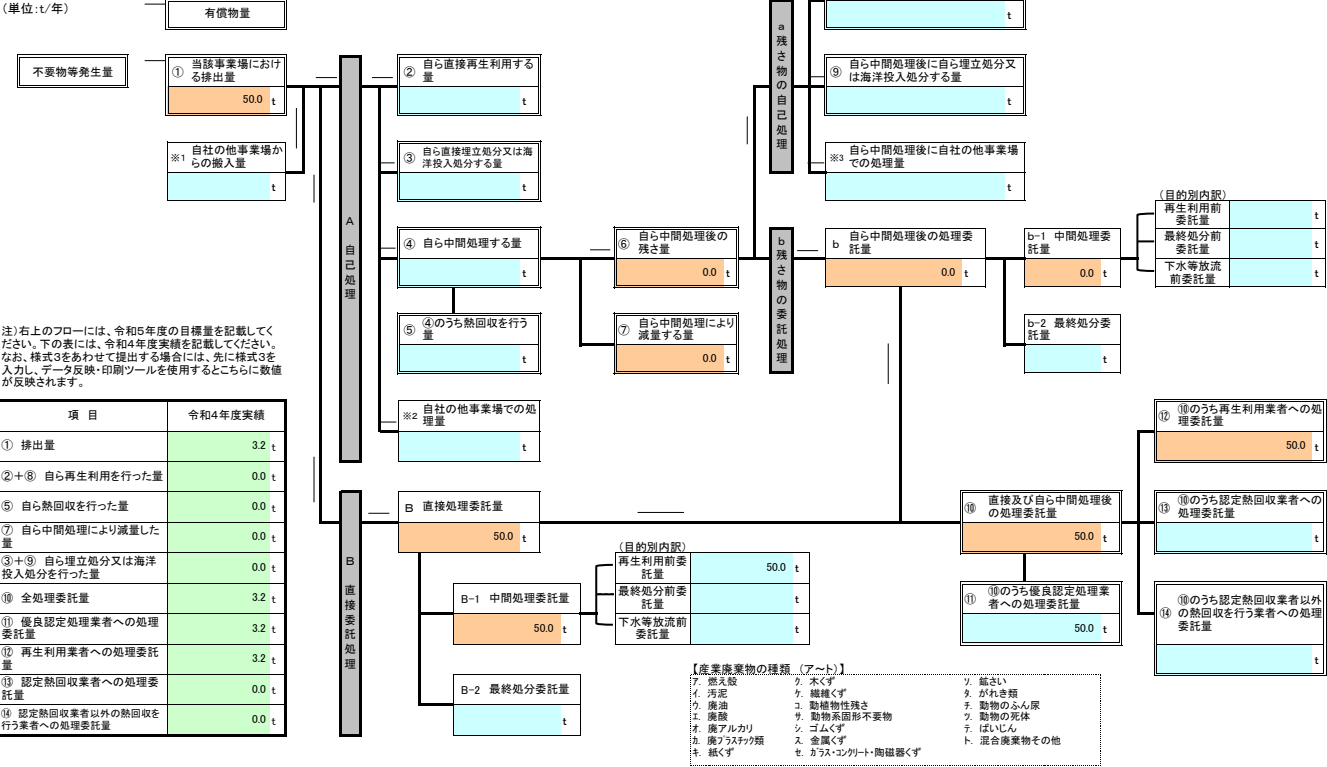
令和5年度発生する産業廃棄物ごとの目標量と処理計画

事業場名称： 鹿島建設株式会社 横浜支店

フローに記載した産業廃棄物の種類 ト. 混合廃棄物その他

※ 本用紙は廃棄物の種類ごとに1枚の記載となります。異なる廃棄物の処理フローは別シートに記載してください。

(単位: t/年)



注) 右上のフローには、令和5年度の目標量を記載してください。下の表には、令和4年度実績を記載してください。なお、様式3をあわせて提出する場合には、先に様式3を入力し、データ反映・印刷ツールを使用するところに数値が反映されます。

項目	令和4年度実績
① 排出量	3.2 t
②+⑧ 自ら再生利用を行った量	0.0 t
⑤ 自ら熱回収を行った量	0.0 t
⑦ 自ら中間処理により減量した量	0.0 t
③+⑨ 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0.0 t
⑩ 全処理委託量	3.2 t
⑪ 優良認定処理業者への処理委託量	3.2 t
⑫ 再生利用業者への処理委託量	3.2 t
⑬ 認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
⑭ 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t

[illegible]